

令和2年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	所管部局	環境生活部	作成責任者	アイヌ政策監 長橋 聡	施策コード	03 - 13
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	アイヌ政策課 24-133	関係課	環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課	政策体系コード	3(4)A

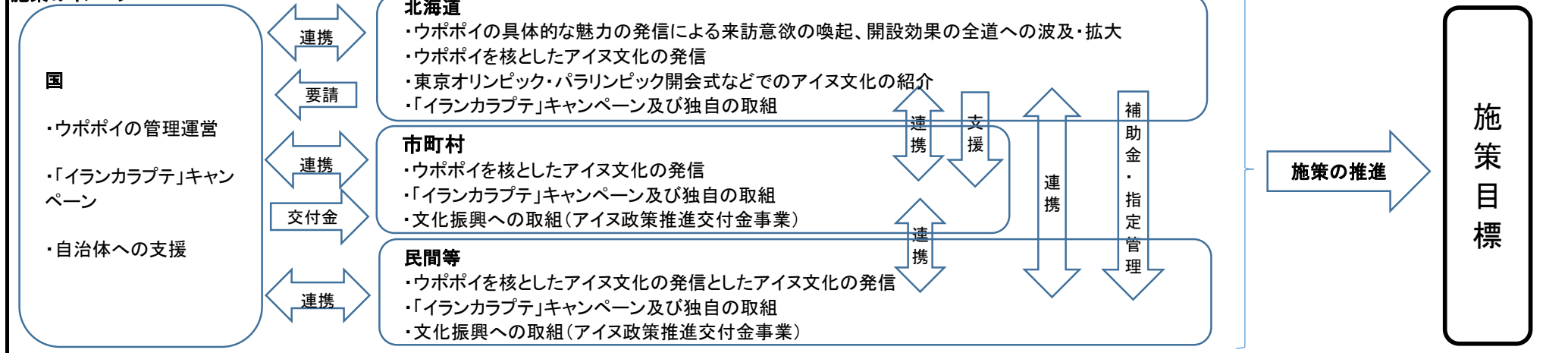
Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
・アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の保存・伝承が急がれる状況にあることから、アイヌ文化を次世代に継承することができるよう、その保存・伝承を促進し、アイヌ文化の一層の振興を図るとともに、道民への理解の促進を図る施策を推進する必要がある。	【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】 ・アイヌ文化の保存・伝承を促進し、アイヌ文化の振興を図るとともに、アイヌの人たちの伝統や文化に関する理解の促進に取り組む。 ・国により「ウポポイ(民族共生象徴空間)」が2020年(令和2年)に公開されることや、東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機にしながら、アイヌ文化の発信を強化する。	H30	804,951
		R1	766,916
		R2	746,475

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】	3(4)A	①アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとなるウポポイ(民族共生象徴空間)の管理運営 ②「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組 ③自治体の取組への支援(アイヌ施策推進法による市町村の文化振興への交付金)	①ウポポイの具体的な魅力の発信による来訪意欲の喚起、開設効果の全道への波及・拡大 ②ウポポイを核としたアイヌ文化発信の方策検討 ③東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化の紹介についての国などへの要請 ④「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組	①ウポポイを核としたアイヌ文化発信の方策検討 ②「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組 ③文化振興への取組(アイヌ政策推進交付金事業)	①ウポポイを核としたアイヌ文化発信の方策検討 ②東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化紹介に向けたアイヌ古式舞踊の統一演目の作成、踊り手の育成等 ③「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関等と連携した取組及び独自の取組

施策のイメージ



前年度付加意見への対応状況(令和2年3月末時点)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業 整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(令和2年3月末時点)
施策 事務事業			-	

前年度付加意見への対応状況(令和2年3月末時点) || Do & Check 施策評価

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	事務事業 整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(令和2年3月末時点)	各部署の対応(評価時点)
事務事業	1013	アイヌ民族文化財団事業費 補助金	アイヌ施策推進法の施行を踏まえ、国及び道の 役割分担の整理を行った上で必要となる見直し や、事業効果の検証を踏まえた事業費の精査を 国に対し求めること。	国費要望の中で、アイヌ施策推進法の施行を踏 まえ、国が主体となり、事業の一層の推進を図 るとともに、適正な負担割合に基づく国の負担 の引き上げを行うことを要請しているところであ り、引き続き、機会を捉えて国に必要な財源措 置を求めている。	国費要望の中で、適正な負担割合に基づく国の 負担の引き上げを要請しているところであり、引き 続き機会を捉えて国に必要な財源措置を求めて いくとともに、事業内容についてもより効果的なも のとなるよう国や財団と協議していく。

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

今年度の取組

1-2 取組の結果

政策体系及び関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを踏まえた対応
<p>3(4)A</p> <p>【創生】 A4611 A4612 【公約】 C0058 C0072 C0073 C0074 C0076</p>	<p>【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】</p> <p>○「国の施策及び予算に関する提案・要望」により内閣官房、関係省庁に「ウポポイの魅力向上や誘客促進などに必要な予算の確保及びアクセス機能の強化」についての要望を行う。</p> <p>○ウポポイの具体的な魅力の発信による来訪意欲の喚起や、開設効果の全道への波及・拡大を図る。(新規)</p> <p>○オリンピック開会式等での文化発信に向けて、(公社)北海道アイヌ協会が行う各地域の舞踊や音楽など、統一した舞踊等の作成などの取組の支援を行う。</p> <p>○(公財)アイヌ民族文化財団が行うアイヌ文化振興のための事業に対する補助を行う。</p> <p>○アイヌ総合センターを運営する(指定管理)。</p> <p>○「イランカラプテ」キャンペーンの推進を行う。</p> <p>○PRイベントの開催などによるアイヌ文化の発信を行う。(新規)</p> <p>○アイヌプロダクツの開発、市場調査、アンテナショップ開設の検討等を行う。</p>	<p>・ウポポイ(民族共生象徴空間の整備や、東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化の発信については、国に対し「国の施策及び予算に関する提案・要望」などのほか、様々な機会を捉えて要望している。(2020年(令和2年)7月12日開業。)</p> <p>・アイヌ民族文化財団事業費補助金により、アイヌ施策推進法に基づく国の指定をうけたアイヌ民族文化財団が実施する事業に補助し、アイヌ語指導者育成やアイヌ語の普及を目的とした弁論大会、アイヌ文化活動アドバイザー派遣などアイヌ文化の振興、小中学生向けの副読本の作成やイランカラプテキャンペーンなどの普及啓発等を行った。</p> <p>・道立アイヌ総合センターを運営することにより、広く一般に対し、アイヌの人たちの歴史認識や文化の伝承、保存などに関し理解の促進を図った。</p> <p>・教育庁が実施するアイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育や、文化振興課が行うアイヌ文化の情報発信などと連携し、アイヌの人たちの文化振興等を行った。</p> <p>・イランカラプテキャンペーン推進協議会の一員として、国や関係機関、民間企業と連携してキャンペーンを展開し、道においては、期間限定でキャンペーンイメージソングを道庁本庁舎及び各(総合)振興局において庁内放送するなど、イランカラプテを北海道のおもてなしのキーワードとして普及させ、道民や本道を訪れる方がアイヌ文化への興味・関心を持つためのきっかけづくりを行った。</p> <p>・平成30年度に養成したサブリーダーが地域のリーダー等と連携協力し、オリンピック開会式等での披露に向け、統一かつ魅力的な演示となるよう、地域の各保存会会員等に対して実技指導を行っている。</p> <p>・アイヌ工芸品販路拡大・担い手育成推進事業において、アイヌ伝統工芸と現代デザインが融合した商品の開発を実施。</p> <p>・ウポポイ魅力発信事業において、各種媒体やイベントを活用し、ウポポイの魅力についての情報発信を実施。</p> <p>・秋・冬期来客促進事業において、秋以降の誘客促進に向けた需要喚起を実施予定。</p> <p>・経済部と連携し、北米・ハワイ、台湾、中国、ASEANにおいて、道産品とあわせてアイヌ文化の魅力発信するとともにウポポイのPRを実施。</p> <p>・教育庁と連携し、ウポポイ(民族共生象徴空間)への修学旅行等の実施について協力を依頼。</p> <p>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</p> <p>・周辺エリア受入環境整備事業として、白老駅北商業観光ゾーンにおいて、道内各地の魅力発信PRブースの出展などを期間を短縮して実施。</p> <p>・アイヌ文化情報発信事業において、北海道博物館の巡回展・出前講演会の開催時期を変更して実施。</p> <p>・ウポポイ(民族共生象徴空間)の開業祝賀レセプションを実施する予定であったが、中止した。</p> <p>・経済部と連携し、国際大会等の開催を契機とした国内外の需要獲得に向け、首都圏等において、アイヌ文化の魅力発信するとともにウポポイのPRを実施する予定であったが、中止した。</p>	<p>・アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告の政策展開に当たっての基本的な理念として「民族共生」という理念は、国際的にも追求されているものであり、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し合う共生的かつ多元的な社会を目指す我が国においても、国民がこの理念を共有する必要がある。国民一人ひとりが、自分たちも一族であると認識するとともに、アイヌという独自の先住民族が国内に生活していることを認識し、尊重できるようになることが求められている。(*)とされており、アイヌ文化の振興とアイヌの伝統等に関する理解の促進を図ることが必要。</p> <p>*「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告書(平成21年7月)」</p> <p>・「アイヌ政策を考える懇談会」(平成30年2月)においてアイヌ語などアイヌ文化の振興を図るよう意見があった。</p> <p>・これらの意見を踏まえて、令和2年7月、国に対し、アイヌ施策推進法に基づく必要な財源措置を含む、国が主体となった総合的な施策の円滑かつ効果的な推進を要望した。</p>

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 —	アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会を実現するため、庁内に「アイヌ施策推進連絡会議」を設置し、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に係る理解の促進に関することやアイヌの人たちの生活向上に関する事を協議し国費要望に反映させていく。	—	各部・教育庁代表(企画担当)課	・令和3年度の国費予算要望の取りまとめを行うとともに、アイヌ政策を取り巻く最近の動向に関して情報提供などを行った。
施策・部局 —	経済部とも連携し、国内外で開催される観光プロモーションや道産品のPRの場において、アイヌ文化の魅力発信を行うとともに、北海道博物館において、道民等がアイヌ文化に関する知識を深める機会を創出し、アイヌ文化への理解促進を図り、ウポポイへの誘客を促進する。	—	経済部国際経済室	<ul style="list-style-type: none"> ・経済部と連携し、北米・ハワイ、台湾、中国、ASEANにおいて、道産品とあわせてアイヌ文化の魅力発信するとともにウポポイのPRを実施。 ・アプリを活用した道内アイヌ文化関連施設(ウポポイを含む。)スタンプラリーを実施し、アイヌ文化の魅力発信。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・アイヌ文化情報発信事業において、北海道博物館の巡回展・出前講演会の開催時期を変更して実施。 ・経済部と連携し、国際大会等の開催を契機とした国内外の需要獲得に向け、首都圏等において、アイヌ文化の魅力発信するとともにウポポイのPRを実施する予定であったが、中止した。
		0505	経済部観光局	
		—	環境生活部文化振興課(北海道博物館)	
施策・部局 —	ウポポイの開設効果の全道波及に向けて、兼職課長や兼務課長補佐・主幹などとともに、全庁一丸となって情報発信や誘客促進に取り組む。	—	総合政策部知事室広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内各部の関係課に対し、ウポポイ(民族共生象徴空間)の整備状況など、国の取組に関する情報提供を行ったほか、ウポポイ開設に向け、様々な手法による積極的なPRについて協力を依頼した。 ・各部が所管する広報媒体等でのウポポイPRを実施。
		—	総合政策部地域創生局地域戦略課	
		—	環境生活部総務課	
		—	環境生活部文化局文化振興課	
		—	経済部経済企画局国際経済室	
		0505	経済部観光局	
		—	経済部労働政策局産業人材課	
		—	建設部建設政策局建設政策課	
		—	建設部土木局道路課	
—	建設部まちづくり局都市環境課			

施策・部局 3(4)A	「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に基づき、関係部局とともに、文化振興施策の推進に取り組んでいる。	1110	教育庁教育政策課、義務教育課、文化財・博物館課	・教育庁が実施するアイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育や文化振興課が行うアイヌ文化の情報発信などと連携し、アイヌの人たちの文化振興等を図った。
		0314	環境生活部文化振興課	
地域・民間	「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議」 アイヌの人たちの歴史や文化などに関する道民の理解を促進するため、道と企業、関係団体などが情報を共有しながら、連携によるアイヌ文化の情報発信に向けた取組について検討を行う。	—	内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、北海道運輸局、道内関係市町村、大学、博物館、関係団体、31の民間企業	《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・ウポポイ(民族共生象徴空間)開設に向けて設立された「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク会議」と構成団体が重複するため、同会議の場を活用し、アイヌ文化の情報発信、ウポポイへの誘客促進に向けた取組、各構成団体による普及啓発事業等の情報共有を行う予定。
地域・民間	「イランカラプテキャンペーン」 アイヌ文化等の普及啓発をより一層推進するため、平成25年度から平成27年度の3年間を重点期間とし、民間企業や行政機関、学術機関等の連携により、アイヌ語のあいさつ「イランカラプテ」(「こんにちは」の意)を、「北海道のおもてなし」のキーワードとして普及させるキャンペーンを展開。平成28年度以降も継続展開中。 キャンペーンの推進は、国、自治体等、学術機関、アイヌ関係団体により構成する「イランカラプテ」キャンペーン推進協議会が担い、キャンペーンに賛同いただく民間企業や一般の方々にサポーターとしての参画を募り、裾野を広げる。	—	国(内閣官房アイヌ総合政策室、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道運輸局、国土交通省北海道開発局)	・道も参画する「イランカラプテキャンペーン推進協議会」の構成団体であるアイヌ民族文化財団への補助事業として、北海道放送株式会社や株式会社北洋銀行と連携し、「イランカラプテキャンペーン」イメージソング「君に逢えてよかった」をテーマとした中学生作文コンクールを実施した。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・令和2年10月に第4回 イランカラプテ音楽祭in平取(主催:イランカラプテ音楽祭実行委員会)が開催される予定であったが、中止となった。
		—	市町(札幌市、白老町、平取町)、大学(国立大学法人北海道大学アイヌ・先住民研究センター、札幌大学)	
		—	関係団体(NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、公益社団法人北海道アイヌ協会、公益社団法人北海道観光振興機構、公益財団法人アイヌ民族文化財団)、民間企業(北海道旅客鉄道株式会社、北海道空港株式会社、北海道放送株式会社、株式会社北洋銀行)	
地域・民間	「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」 2020年のアイヌ文化の復興等のナショナルセンターとなる「ウポポイ(民族共生象徴空間)」の開設に向け、関係行政機関や関係団体、道内経済関係団体が一体となって、開設機運の醸成や100万人の来場者目標を掲げた象徴空間への誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取組や食・観光等の地域の多様な魅力とつなぎ、国内外への総合的な情報発信を強化するなど、オール北海道で、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環を図ることを目的とする。	—	国、14の関係市町村、22の関係団体、162の民間企業	・ウポポイ構成員によるウポポイロゴマーク入り商品パッケージの開発やウポポイ入場券プレゼント企画など、機運醸成に向けた取組や誘客促進を実施。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・ウポポイ(民族共生象徴空間)の開設に向け、ネットワーク構成員が一体となって、さらなる機運醸成と、誘客促進に取り組むとともに、あらゆる機会を通じた様々な取組を推進するため、総会を開催する予定であったが、中止した。

地域・民間	<p>「民族共生象徴空間」開設準備支援プロジェクトチーム 「民族共生象徴空間」の来場者目標100万人の実現に向けて、魅力ある事業展開やマネジメントの向上を図るため、国や関係団体、「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」に参画する各種ノウハウを有する民間企業等の協力を得ながら、民族共生象徴空間の開設準備を支援する官民一体となったプロジェクトチームを設置し、認知度の向上や確実な誘客に向けた取組を進める。</p>	-	内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、民間企業(北海道新聞社、北洋銀行)	<p>・平成29年7月に設置した「民族共生象徴空間開設準備支援プロジェクトチーム」において、効果的な広報に向けた調整を行い、ウポボイ(民族共生象徴空間)の運営主体であるアイヌ民族文化財団の取組に反映させたほか、企業間による独自事業やメディアを活用したPRなどを実施している。</p>
地域・民間	<p>[大学との連携] 北海道大学アイヌ・先住民研究センターが行う調査研究や札幌大学ウレシパクラブの活動などと連携し、アイヌの人たちへの理解の促進に取り組むほか、国等において様々な検討を行うための意見をいただくなど、連携を図っている。</p>	-	北海道大学、札幌大学	<p>・国等における様々な検討に資するため、北海道大学アイヌ・先住民研究センターや札幌大学ウレシパクラブ等とともに意見交換等を行っている。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 ・民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワークの構成団体である札幌大学と連携し、ウポボイオープン記念パネル展を開催する予定であったが、道単独で開催(令和2年7月)。</p>

令和2年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03 - 13
-----	----------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

3-2 成果指標の達成度合

関①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
		基準年度	H30	年度	R2	最終年度	R6	達成度合	-	-	-	
	「アイヌ民族が先住民族であること」の認知度	基準年度	H30	年度	R2	最終年度	R6	達成度合	-	-	-	今年度新たに設定した指標のため、達成度合は算定不可。 【内的要因】 【外的要因】
		基準値	88%	目標値	基準値から増加	最終目標値	98%	年度	R1	R2	進捗率	
	【指標の説明】 道内における「アイヌ民族が先住民族であること」を知っている人の割合 【アウトカム指標】 アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、「アイヌの歴史・文化に関する理解の促進」に係る取組の成果を測る指標として設定。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	-	基準値から増加	-	
		第2期北海道創生総合戦略		3(4)A	増加	-		実績値	-	-	-	
								達成率	-	-	-	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
		直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
3(4)A					1	-	<「アイヌ民族が先住民族であること」の認知度[-]> ※新たに設定した指標のため、算定不可
						-	
						-	
計	0	0	0	0	1	-	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	△	・当該施策の基本となる「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に掲げる各種推進施策に有効な取組を行っていることが確認できる。 ・新型コロナウイルス感染症により、首都圏等におけるウポポイのPRを中止するなど影響があった。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	・要望書の提出や各種会議への参加により、国が主体となった象徴空間の整備などが着実に推進されている。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・アイヌの人たちや有識者とアイヌ施策に関する意見交換やニーズの把握などを行い、施策への反映に努めている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	・文化振興施策を推進するため、関係部課と連携して、アイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育やアイヌ文化の情報発信を実施している。
判定			C
・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b ・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c			

Check 施策評価・事務事業評価 二次政策評価結果(知事による評価)

6 二次政策評価結果(知事による評価)

<意見区分； 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
施策 事務事業	I	1016	ウポポイ開設を促えたアイヌ政策推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。

<事務事業評価 意見区分； 前年度評価結果への対応など>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
事務事業	I	1013	アイヌ民族文化財団事業費補助金	アイヌ施策推進法の施行やウポポイの開設を踏まえ、本補助金の対象である普及啓発等の事業について、国及び道の役割分担の整理を行った上で、国事業への移行や、事業効果の検証を踏まえた事業費の精査など、必要な見直しを国に対し求めること。

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映
 (1) 一次政策評価結果への対応

対応方針番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・感染症の推移を見極めながら、ウポポイをはじめアイヌにゆかりのある道内各地への来訪促進を図るため、国や市町村、関係機関と連携し、WEBやSNS、情報誌等の様々な媒体を活用してアイヌ文化の魅力を発信する。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるアイヌ文化の発信に向けて、国や関係機関と連携し、北海道アイヌ協会が行う各地域でのパフォーマンスの磨き上げなどの取組を支援するとともに、感染症の推移を見極めながら、道内外でのイベントや動画配信等を通じて、アイヌ文化の魅力を継続的に発信する。 ・感染症の推移を見極めつつ、国やアイヌ関係団体、企業等との連携のもと、ウポポイをはじめ道内のアイヌ関連施設を活用しながら、地域における伝承活動への支援のほか、食や観光と連携し、多言語による国内外へのPRを行う。 ・アイヌの伝統工芸と現代デザインの融合をコンセプトとした「アイヌプロダクツ」の開発や販路拡大の支援、工芸品製造の担い手育成などを実施し、「アイヌプロダクツ」を通じたアイヌ文化の普及促進を図る。	改善: ウポポイ開設を捉えたアイヌ政策推進事業 改善: アイヌ民族文化財団事業費補助金 改善: アイヌ総合センター管理運営費

(2) 二次政策評価結果への対応(付加意見への対応状況)
 <意見区分; 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

施策事務事業	対応方針番号	事務事業整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)
施策事務事業	I	1016	ウポポイ開設を捉えたアイヌ政策推進事業	・感染症の推移を見極めながら、ウポポイへの誘客や開設効果の地域への波及、アイヌ文化の魅力の一層の発信に向け、多様な媒体を活用した広報や工芸品の販路拡大、博物館やアニメを通じた情報発信を行う。

<事務事業評価 意見区分; 前年度評価結果への対応など>

事務事業	対応方針番号	事務事業整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)
事務事業	I	1013	アイヌ民族文化財団事業費補助金	・国費要望の中で、適正な負担割合に基づく国の負担引き上げを要請しているところであり、引き続き機会を捉えて国に必要な財源措置を求めていくとともに、事業内容についてもより効果的なものとなるよう国や財団と協議していく。

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計	次年度新規事業(予定)
反映結果		1					1	

事務事業整理番号	事務事業名	一次政策評価における方向性(再掲)	次年度の方向性(反映結果)
1016	ウポポイ開設を捉えたアイヌ政策推進事業	改善	改善